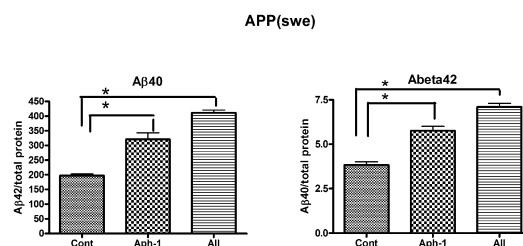


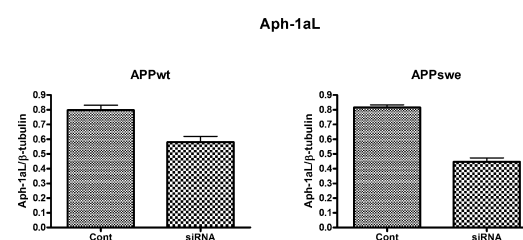
Aph-1の量が増加した際の ガンマ・セクレターゼ活性の変化

研究分担者：東京医科歯科大学大学院脳神経病態学 水澤英洋

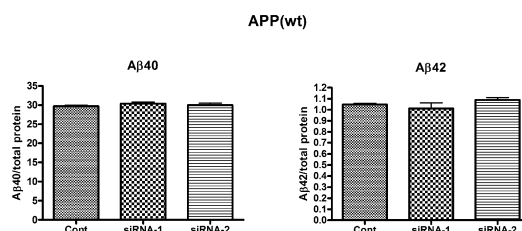
Aph-1が増加した場合にはアミロイドβ産生量が増加した。



Aph-1をsiRNAを用いて減少させたところ、半分まで減らすことができた。



Aph-1を減少させても、アミロイドβ産生量は変わらなかった。



解 説

1. Aph-1発現ベクターを用いて培養細胞にAph-1を強制発現させたところ、アミロイドβの産生が増加した。(図上段)
2. siRNAを用いてAph-1を減少させたところ、約半分量まで減量することができた。(図中段)
3. siRNAで半分量まで減量した状態でアミロイドβ産生量を測定したが明らかな変化が認められなかった(図下段)ことより、ガンマ・セクレターゼ複合体として存在するAph-1の量がかなり少量であることが推測される。